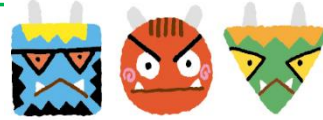


むくのきだより



2月号

令和2年1月31日

港区立赤羽幼稚園長 宮崎 直人

一人ひとりが考え、表現する発表会に向けて

園長 宮崎 直人

まもなく節分・立春を迎えますが、寒さが続いているこの頃です。風邪やインフルエンザが全国的に流行しています。幼稚園においても、風邪やインフルエンザを予防するために、うがい・手洗いの徹底を継続して行っているところです。

さて、1月は、こま回しや凧揚げ、羽根つきなど、日本の伝統文化に親しむ機会が数多くありました。誕生会でも、お正月飾りや門松の意味、七草粥、鏡割りなどにまつわる話をしました。そして、1月9日（木）には、獅子舞お囃子の会がありました。地域の方のご協力により、日本の伝統・文化である獅子舞とお囃子を見せていただきました。今回は、小学校の講堂で、小学生も一緒に参加しました。獅子からミカンの皮が出てきてびっくりしたり、獅子に頭を噛まれて驚いていた子もいましたが、皆とても楽しんでいる様子でした。



1月10日（金）は、剣道教室がありました。山本明日香先生と山崎健多先生に丁寧に教えていただきました。素振りをしたり、「面」「胴」「小手」と大きな声で言いながら竹刀で面打ちをしたりしました。竹刀の構え方も様になってきたように思います。挨拶や姿勢も立派になってきました。2月3日（月）には、節分の豆まきも予定しています。これからも、日本の伝統・文化に親しむ活動を積極的に行っていきたいと思います。

1月30日（木）の午後には、高輪区民ホールで観劇会がありました。プーク人形劇団が、「にんぎょう祭りばやし」と「八郎」を演じてくれました。子供たちは、人形や劇団の人たちの動きやセリフに、笑ったり驚いたり、座席から身を乗り出すようにして見ていました。どの子も劇に夢中になっている様子がよく分かりました。道の歩き方や電車の乗り方も、安全に気を付けてしっかりとできていたと思います。お迎えのご協力をありがとうございました。

さて、子供たちは、2月8日（土）の発表会に向けて、一生懸命練習に励んでいます。発表会では、子供たちが歌を歌ったり、合奏をしたり、劇を行ったり、明るく元気よく表現します。

さくら組では、大好きな絵本の「11ぴきのねこ」シリーズから、好きな場面を選んでストーリーを作り、自分なりのネコの表現を楽しんでいます。歌や楽器遊びでは、次第に声やリズムが揃うようになり、学級の友達と一緒に演奏する心地良さを感じ始めています。

ゆり組では、「ももたろう」を題材に、友達に考えを伝えたり、相談をしたりして、自分たちで劇を作り上げていく面白さを感じています。合奏では、自分の役割が分かり、友達と気持ちを合わせる心地よさを味わっています。

発表会は、この一年間の集大成となる大きな行事です。ご来園いただき、励ましの声をかけていただきますようお願い申し上げます。



剣道教室 「胴！」と竹刀で打つ5歳児



心を落ち着かせ、終了します。